

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 15 日現在

機関番号：33920

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008～2012

課題番号：20390156

研究課題名 (和文) 後期高齢期・超高齢期に達することに関連する生活習慣要因のコホート研究による検討

研究課題名 (英文) Survival factors for older adults -based on a cohort study in Japan

研究代表者

玉腰 暁子 (TAMAKOSHI AKIKO)

愛知医科大学・医学部・教授

研究者番号：90236737

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：境界医学・医療社会学

キーワード：高齢者、生活習慣、健康要因、コホート研究

1. 研究計画の概要

1988-90 年に構築された大規模なコホート研究 JACC Study の資料を用いて、75 歳、80 歳に達することに関連する生活習慣要因の検討を行うことを目的とする。JACC Study は約 11 万人を対象とするが、開始時点で 60 歳以上の者約 4.9 万人を含む。これらのものを死亡、転出まで追跡し、コホート研究の手法で、死亡に関連する要因を検討する。

(1) 解析のためのコホートデータを整備・蓄積するため、全国の研究協力者と共同し、対象者の追跡を実施する。

(2) 高齢者が健やかに老いることに関連する要因を検討するため、疾病単位ではなく、総死亡に重点を置いて、要因 (主に生活習慣) の検討を行う。解析には、統計ソフト SAS を使用し、個人情報保護のため、氏名、住所、生年月日のうち日を削除したデータを用いる。

2. 研究の進捗状況

(1) 追跡状況：2010 年までの研究期間中に 2008 年末までの死亡・転出の追跡を終え、データセットをコホートとして使える状態に整備した。

(2) 解析結果：

①生活習慣との関連：生活習慣がよいもの (喫煙しない、多量飲酒しない、1 日 1 時間以上の散歩をする、7 時間の睡眠をとる、緑黄色野菜をほぼ毎日摂取する、適切な体重である) は悪いものに比べ、中年のみならず高齢者でも死亡リスクが低いこと、ならびに 60-79 歳のものにおいても 6 つの生活習慣を 1 つでも改善することで男性の 26.7%、女性の 20.2% の死亡が予防できる可能性を示した。さらに、喫煙者は他の習慣がすべてよ

くても他の習慣がすべて悪い非喫煙者よりも平均余命が 60 歳時点でも 1 年以上短いことを明らかにした。高齢者であっても生活習慣を良好に保つこと、禁煙をすることの重要性が示された。②体格：高齢者における BMI と死亡の関連を検討した。中年者と異なり、高齢者では痩せはリスクを上昇させ、BMI20.0-22.9 の者に比べ BMI18.5-19.9 のものであってもわずかではあるが有意なリスク上昇を認めた。一方で、肥満者においては BMI30 以上の女性でややリスク上昇を認めたのみと高齢者における肥満は大きな問題とならなかった。全体として、BMI20.0 から 29.9 の広い範囲で死亡リスクが低かった。メタボリックシンドロームを中心とした肥満対策が求められる中、高齢者におけるこの結果は、今後の施策を検討するうえで基礎的な資料と考えられる。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由) 高齢者における生活習慣と死亡との関連を明らかにしている。しかし、今までのところベースラインデータを用いた解析を実施しているのみで、生活習慣の変化 (JACC Study では 5 年後のデータが一部の対象者で利用可能) についてまだ検討できていない。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 対象者の追跡は JACC Study 全体として 2009 年末までとしており、現在最終的な追跡情報を確認している。まずこのデータ整備を行い、最終的な解析用データセットを完成させる。

(2) 高齢期における死亡 (生存) との関連を今までに検討していない生活習慣についても検討する。特に食品、飲酒などを予定し

ている。さらに、ベースラインから5年後の生活習慣を加味し、生活習慣の変化が死亡に与える影響についても解析を試みる。

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 4 件)

1. Tamakoshi A, Tamakoshi K, Lin Y, et al. Number of children and all-cause mortality risk: results from the Japan Collaborative Cohort Study. Eur J Public Health 2011; *in press*. (査読有)
2. Tamakoshi A, Kawado M, Ozasa K, et al. Impact of smoking and other lifestyle factors on life expectancy among Japanese: findings from the Japan Collaborative Cohort (JACC) Study. J Epidemiol 2010;20:370-6. (査読有)
3. Tamakoshi A, Yatsuya H, Lin Y, et al. BMI and all-cause mortality among Japanese older adults: findings from the Japan collaborative cohort study. Obesity (Silver Spring) 2010;18:362-9. (査読有)
4. Tamakoshi A, Tamakoshi K, Lin Y, Yagyu K, Kikuchi S, for the JACC Study Group. Healthy lifestyle and preventable death: findings from the Japan Collaborative Cohort (JACC) Study. Prev Med 2009;48:486-92. (査読有)

[学会発表] (計 3 件)

1. Tamakoshi A, Yatsuya H, Lin Y, et al. Body mass index and mortality among Japanese older adults: findings from the JACC Study. The Obesity Society 27th Annual Scientific Meeting; 2009 October 24-28; Washington DC, US.
2. 玉腰暁子, 林櫻松, 柳生聖子, 菊地正悟, 玉腰浩司. 健康習慣と予防できる死亡: JACC Studyから. In: ポスター, editor. 第67回日本公衆衛生学会総会; 2008 11月5-7日; 福岡.
3. 玉腰暁子, 林櫻松, 柳生聖子, et al. 高齢者のBMIと総死亡リスク: JACC Studyから. In: 口演, editor. 第19回日本疫学会学術総会; 2009 1月23-24日; 金沢.

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]
○出願状況 (計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況 (計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]
ホームページ
<http://www.aichi-med-u.ac.jp/jacc/index.html>